

令和7年度 地域連携推進会議 概要

事業所名	障害者グループホーム 風車の舎		
開催日時	令和8年2月18日16時～17時		
開催場所	グループホーム 風車の舎 ホール		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	2	・管理者、サービス管理責任者
	入居者	1	
	入居者ご家族	1	・民生委員 ・市社会福祉協議会職員 ・市障がい福祉課職員
	地域の関係者	1	
	福祉に知見を有する方	1	
市町村担当職員	1		
題	<p>(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的</p> <p>(2) 出席者紹介</p> <p>(3) グループホームの取り組みの説明</p> <p>(4) 施設訪問時の感想（構成員の感想）</p> <p>(5) 意見交換</p> <p>(6) その他</p>		
協議内容・意見等	<p>(1) 地域連携推進会議の趣旨として、施設の運営にあたり地域の皆様方から理解・連携をいただくことにより、施設入居者と地域の方々との関係作り、そして地域の方々への施設や入居者への理解の促進を目的としております。さらに本日の会議の構成員の皆様が「地域連携推進委員」として施設を訪問していただき、外部の目から見た気づきなどご意見をいただく中、事業運営の一助となることを期待されているところであります。</p> <p>このような外部の方を構成員とした本日開催する「地域連携推進会議」を定期的を開催することが義務付けられ、本日の会議が第1回となります。本日はさらなる、支援サービス向上のためなど忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</p> <p>尚、委員皆様方の参加承諾書にもありましたように本日の会議で知り得た個人情報等については、外部に漏らすことがないようご配慮ください。資料の中に個人情報が含まれている場合は終了後回収させていただきます。そして、本会議の会議録を作成し、ホームページ等で公開することが義務付けられておりますのでご了承を賜りたいと存じます。</p> <p>(2) 出席者紹介</p> <p>利用者</p> <p>利用者家族</p> <p>民生委員</p> <p>市社協職員</p> <p>市長寿障がい福祉課職員</p> <p>法人職員</p> <p>統括部長（管理者） 森山 史朗</p> <p>サービス管理責任者 大島 由嗣</p>		

(3) グループホームの取り組みの説明

➤ 風車の舎 利用案内

別紙参照

現在の入所者 男性5名

60代 3名 40代 1名 30代 1名

➤ 令和7年度 事業計画 (年度方針 重点目標 年間行事計画)

別紙参照

➤ 令和7年度 経過報告

別紙参照

最近の行事について

➤ 権利擁護研修について

法人の障がい福祉事業として虐待防止委員会を設置しており、虐待防止委員会が中心となつて、利用者への虐待防止対策を行っている。風車においては虐待防止研修を行い、虐待につながる言動等を啓発している。

(4) 施設訪問時等の感想

➤ 市社協職員

社協の事業に関わりのあることで施設に何回か訪問したことがある。これまでは、1階の共有部分しか立ち入ることがなくて、入居者がどのような生活をしているのかを知る機会がなかった。施設訪問の見学で生活の場を見ることができて良かった。利用者の想いを聴いて、利用者ミーティングで利用者のニーズを聴いているのが良かった。施設は老朽化で修繕が必要な部分があると思うが施設全体が明るい雰囲気の良いと思った。地元で生活していきたいという想いを大切にしていってほしい。

➤ 雲南市職員

・市の所有の建物であるが、建物が老朽化しており、サッシの隙間風があり修繕ができていなくて申し訳ないと思っている。建物の修繕を補助金等で検討していきたい。

➤ 利用者

グループホームは共同生活でみんなが仲良くやっていないといけない。ここに入居する過程をみんなに知ってほしいと思っている。ここに入居する理由は、ひとりひとり違うということをみんなに理解してほしいと思っているここに長らく住んでいるが、生活自体には満足している。

➤ 利用者家族

息子は2年前からこちらで生活している。それまでは、家で生活をしており、家から自転車で駅まで行き、作業所に通っていた。家での生活は、家族の介護で息子をなかなかかまうことができなかったと思う。グループホームに入るようになり、息子と会うと家で生活している時は笑わなかったのが笑うようになって明るくなった。親子の関係が良くなった。家の手伝いをしたりして助かっている。息子は、料理をしたり、自分で買い物したり、自分で行動ができるようになっているので、グループホームに入って良かったと思っている。

	<p>➤ 民生委員</p> <p>この施設はずっと前から知っているが、ここはどんな人が入居して生活しているかが分からずにいた。正直な話、今日の会議に参加するのにちょっと身構えていた。施設を訪問することで、ここにはどんな人が生活をしているかが分かって良かった。良い意味で、利用者と職員の関係性が良いと感じた。</p> <p>(5) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中は、どこかに出かけているのでしょうか。 →日中は、ほとんどの入居者が雲南市内にある日中の活動事業所に通っている。 ・夜間は職員が勤務しているのでしょうか。 →当事業所は、外部サービス利用型のグループホームになり、夜間帯は職員を配置していない。主な時間帯として、朝と夕方に職員を配置している。 ・地域として、施設の紹介をしていきたいと思っているが、いかがでしょうか。 →グループホームのことを地域の方に知って、理解をして頂きたいので、そういう機会を設けて頂きたいと思っている。 ・雲南市は、障がい者の対応が薄くて、成人したときの行き先があまりない。制度の壁の間に挟まれた障がい者をどのようにしていくのか、情報があまりない。 →事業所として、そういった方々の力になれるように対応をしていきたいと思っている。具体的には、当法人には、相談支援事業所があり、障がい者の当事者や家族に対して相談窓口を設けている。地域の方々に相談支援事業所の役割を知って頂けるように対応していきたいと思っている。
<p>協議内容・意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の大規模修繕は雲南市がしており、大規模な修繕は行っていない。来年度より、市が無償貸与することになっている。従って、必要な修繕については、事業所が負担をして行く必要がある。事業所として、修繕積立金をしていないので、今後の修繕をどのようにしていくかを検討していく必要がある。